



特別養護老人ホーム経営セミナー

― 地域包括ケア時代における特養の役割と特養経営の方向性 ―

主催：独立行政法人福祉医療機構

〈開催日〉 平成24年12月 6日（木） 〈大阪会場〉 毎日新聞ビル・オーバルホール

政府が本年2月に閣議決定した「社会保障・税一体改革大綱」により示されている2025年に向けた改革シナリオ等では、介護に係る政策の方向として、地域包括ケアが中心的なコンセプトとなっています。それは、住み慣れた地域で生活の継続を目指すために医療・介護等の包括的な支援の仕組みを構築することだとされています。一方、施設サービスである特別養護老人ホームについては、入所・通所・訪問の拠点という役割を担うだけでなく、これからの地域包括ケアも見据えると地域の高齢者をもっと多面的に支える拠点としての役割がますます期待されるのではないかと考えられます。

そこで本セミナーでは、これからの政策の方向性を見極めつつ、特養に期待される新たな役割とは何かについて、先駆的な実践事例、経営データなども交えながら、皆さまとともに考えます。

また、近時南海トラフ地震、首都直下地震など大規模震災への関心が高まっているなか、東日本大震災における高齢者施設の被災実態調査もご紹介し、これからの高齢者施設の防災・リスク対策についても併せて考えたいと思います。

09:40～10:10	受 付 （30分）
10:10～10:20 （10分）	オリエンテーション 開会あいさつ 独立行政法人福祉医療機構
10:20～11:40 （80分）	「介護保険の現状と特別養護老人ホーム」 〈講師〉 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐 懸上 忠寿 氏
11:40～11:50 （10分）	「福祉貸付事業の概要について」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 大阪支店 福祉審査課
11:50～12:40	休 憩 （50分） ☞ 福祉貸付簡易相談コーナー
12:40～13:50 （70分）	「高齢者施設の防災対策について ～東日本大震災における 高齢者施設の被災実態に関する調査研究報告～」 〈講師〉 近畿大学 建築学部 准教授 山口 健太郎 氏
13:50～14:00	休 憩 （10分）
14:00～15:10 （70分）	「これからの地域における特養の役割と当法人の取組み」 〈講師〉 社会福祉法人 恵仁福祉協会 高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ 常務理事・総合施設長 宮島 渡 氏
15:10～15:20	休 憩 （10分）
15:20～16:30 （70分）	「新社会福祉法人会計基準の概要と 特別養護老人ホームの経営実態」 〈説明者〉独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 経営企画課長 千葉 正展

※ 講師および講義内容に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。